

何でも読もう会

書物名	『或阿呆の一生』 芥川龍之介	開催 日時	2023.6.5	出席者	7名
<p>芥川が死に臨んで自分の一生を振り返り、遺書的に簡潔にまとめて友人の久米正雄に託したもの。久米の判断で上梓した。</p> <p>芥川は「あるぼんやりした不安」で自殺したとされている。だが、これを読むと相当な面倒に巻き込まれ、心身ともに極まっていた様子がよく分る。</p> <ul style="list-style-type: none">・「家」の問題 実母の精神疾患、養父母や伯母との関係、係累の事故死や生活破綻とその扶養義務 等々大変複雑だった様子が垣間見える。・女性関係 文中何人かの女性が登場。この子はあなたに似てるでしょう、と絡まれ、その夫に脅されるシーンもリアル。別の女性から心中用に青酸カリを渡されるシーンもある。謹厳そうな芥川だがどうしてどうして。・生活力 世渡りベタを告白 <p>等々、却って芥川が好きになったとの声も。</p>					